

IV-1 進路学習部指導方針

1 進路学習部方針

『郷土に誇りをもち、たくましく生きる生徒の育成』

式根島を愛し、誇りに思い、たくましく生きる生徒を育成することを目指して、自らの生き方について考え、主体的に進路を選択できるようにする。この目標を達成するために、教育活動全体を通じて計画的・組織的な指導體制の確立に努める。生徒が自己を見つめ、自己の特性を理解し、それを自分の将来の可能性として自覚し、将来を見つめ、たくましく生きる力を育む支援を推進していく。

具体的には「キャリア教育」と「郷土理解学習」の2つを柱として展開し、指導・支援を進めていく。

2 23年度重点目標

＜第1学年＞

- 自己を理解し、進路や職業についての幅広い知識と関心をもつ
- 郷土に関心を持ち、地域社会に関わることにより式根島を理解する

＜第2学年＞

- 自己理解、職業についての理解を深め、広い視野から将来の進路を考える態度を形成する
- 地域社会をより深く知り、それを他者に伝える力を育成する

＜第3学年＞

- 自己理解と進路情報に基づき適切な進路選択ができるようにする
- 誇りをもって郷土を語り、地域社会を創造する力をつける

3 キャリア教育の重点

(1) 自己を理解し職業観を身につけさせる

＜第1学年＞

- ①自己の個性や適性について理解するとともに、将来の夢や進路について関心をもたせ、充実した中学校生活を送ろうとする意欲を養う
- ②身近な職業への理解を深め、職場訪問を通して望ましい職業観を育てる

(2) 職業観と勤労観を深め将来への展望をもたせる

＜第2学年＞

- ①自己理解を深めるとともに目標を立てその達成に向けて努力する姿勢を高める
- ②職場体験を通して望ましい職業観や勤労観を育むとともに、進路選択に対する意欲と関心を高める
- ③上級学校や職業などに関する情報を正しく理解させ、自らの課題として考えさせる

(3) 自己理解の下、自己実現に向けての進路決定を行う

＜第3学年＞

- ①自分を見つめ卒業後の進路を将来を見つめながら、具体的に考えさせる
- ②現在の適性や希望を考えながら進路を主体的に選択させる姿勢を育成する
- ③保護者、各関係機関と連携をとりながら、生徒のよりよい将来に向けての前向きな意欲をもたせる

4 郷土理解学習の重点

* 地域社会を創造する力を身につけさせる

＜全学年＞

- ①主体的に取り組む態度を育てる
- ②見通しを立てて活動する態度を育てる
- ③探求活動を通して調べる、学ぶ力を育てる
- ④地域を創造する力を育てる

5 キャリア学習の重点の具体化

(1) 自己を理解し職業観を身につけさせる

<第1学年>

○特別活動，総合的な学習の時間の中で次の項目を学習させる

- 4月 「中学校生活への希望と自覚を表現する」
- 5・6月 「中学生らしい生活の組み立てを考える」「職業人に話を聞く会」
- 12月 「自分の個性や適性を考える」
- 1月 「職業について学び，生き方について考える」「職場訪問に向けて」
- 2月 「職場訪問」

(2) 職業観と勤労観を深め将来への展望をもたせる

<第2学年>

○特別活動，総合的な学習の時間の中で次の項目を学習させる

- 5・6月 「働くことの意義を考える」「職業人に話を聞く会」
- 7月 「職場体験に向けて」
- 夏休み 「職場体験」 5日間
- 10月 「上級学校について」
- 2月 「進路に関する情報の入手方法とその利用方法を学ぶ」
- 3月 「自己理解・伸張を深めながら，希望する進路を考える」

(3) 自己理解の下，自己実現に向けての進路決定を行う

<第3学年>

○特別活動，総合的な学習の時間の中で次の項目を学習させる

- 4月 「3年生になって」「何のために学ぶのか」
- 5月 「職業について自己の適性を理解する」「職業人に話を聞く会」
- 9月 「自分を見つめ直す」
- 10月 「進路について理解を深める」
- 11月 「自己の進路を決定する」
- 12・1月 「受験の手続き，面接の受け方を学ぶ」
- 3学期 「島づくりへの提案にむけて」
- 3月 「3年間の振り返りと卒業後の生活への心構えをつくる」「島づくりへの提案」

6 郷土理解学習の重点の具体化

地域社会を創造する力を身につけさせる

<全学年>

○総合的な学習の時間の中で取り組ませる

- 7月 「郷土理解学習ガイダンス」
- 夏休み 「地域現地調査，分析」
- 9月 「郷土の話を聞く」
- 9～11月 「郷土理解学習テーマ追究」
- 11月 「郷土理解学習発表会（学芸会）」